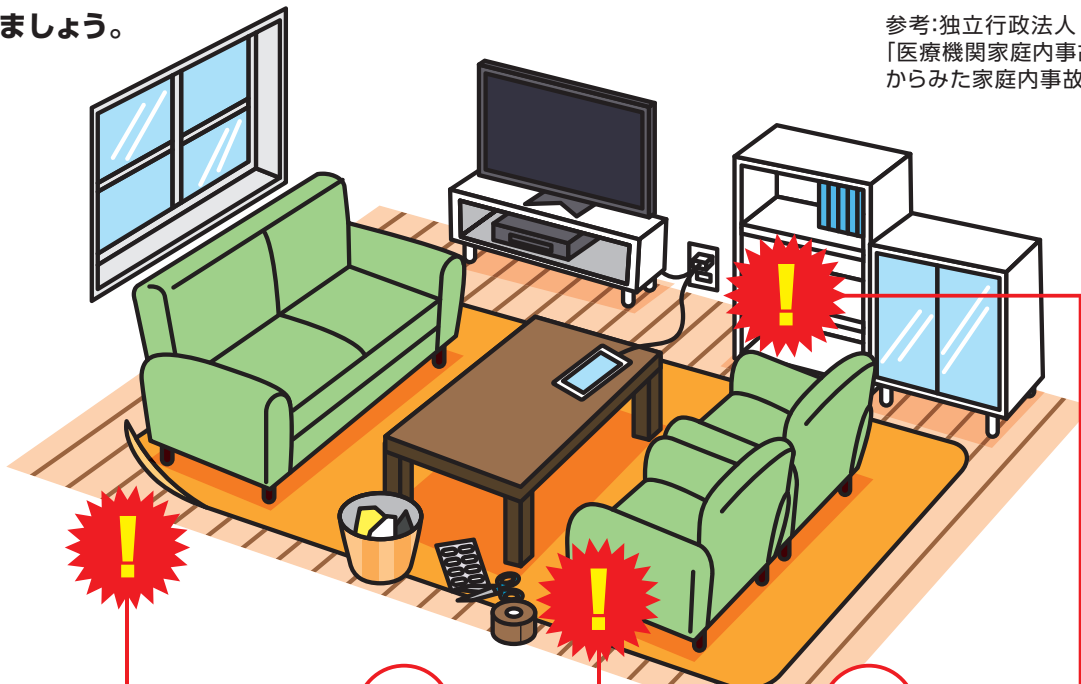


# 気をつけたい家庭内事故 ～リビング編～

シルバー世代の方々が事故に遭っている場所は8割近くが家庭内。その半数近くが居室で発生しており、さまざまな世代が過ごすリビングは特に注意が必要です。まずは、リビングの危険なポイントをチェックしてみましょう。

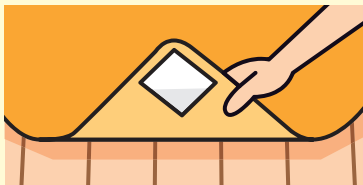
参考:独立行政法人 国民生活センター  
「医療機関家庭内事故ネットワーク事業  
からみた家庭内事故(高齢者編)」



ここに注意!

## カーペットの端

浮いたカーペットの端につまずいて転倒の危険があります。両面テープや専用の固定テープで端を固定しましょう。



ここに注意!

## 床に散らばった小物

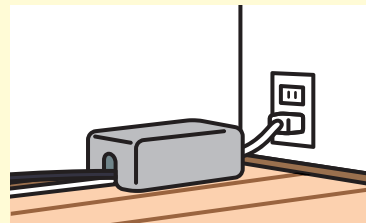
気づかずに踏んでケガをしたり、よけようとして転んでしまうことがあります。日頃から床に物を置かないよう心がけましょう。



ここに注意!

## 電気コード類

足に引っかかり、転倒の原因に。ケーブル類は壁際にまとめて固定したり、ケーブルボックスに収納しましょう。



ここにも注意!

## 階段

シルバー世代の家庭内の事故のうち、約2割は階段でおきています。転落を防ぐために、暗い階段には照明をつけたり、階段に滑り止めや手すりを取り付けるようにしましょう。

チェックポイント!

家の中であっても危険はすぐそばにあるものと考え、常に注意を払うことが大切です。

監修: 社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター/瀬尾さちこ(セイフティライフアドバイザー、整理収納コンサルタント、住宅建築コーディネーター)

ご家族の方へ

段差がある場所の対策や収納を心がけ、  
家族全員で事故の起こりにくい環境づくりをしましょう。